

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-248634  
 (43)Date of publication of application : 22.09.1998

(51)Int.Cl.

A45D 34/00

(21)Application number : 09-057887

(71)Applicant : ISLAND KK

(22)Date of filing : 12.03.1997

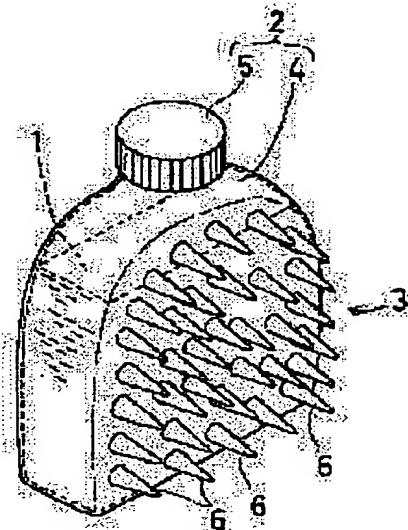
(72)Inventor : AIHARA SEIICHI

## (54) HAIR ARRANGING CONTAINER

### (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To make a container more convenient than ever, by forming a shape of synthetic resin for hair arranging onto the outer periphery of a vessel.

**SOLUTION:** This container 2 has a containing part 4 and a lid part 5, and a brush shape for hair washing is formed on the shampoo containing part 4. The containing part 4 is formed by blow molding of synthetic resin. The shape of the brush for hair washing is made by plural cone shaped long leg protrusions 6 formed on one side on the outer periphery of the shampoo containing part 4. The long leg protrusions 6 can agitate and wash hair bubbled by shampoo in hair washing and give stimulation of massage effect on the head skin. The plural cone shaped long leg protrusions 6 formed on one side of the outer periphery of the shampoo containing part 4 can be functioned as massaging protrusions and are good for beauty. Only providing this hair arranging container is enough for hair washing and no need to provide any hair arranging tool (for instance a brush), which is convenient if provided, is required.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 08.11.1999

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

2000. 7/6

(19)日本国特許庁 (J P)

(12)公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-248634

(43)公開日 平成10年(1998)9月22日

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>  
A 4 5 D 34/00

識別記号  
510

F I  
A 4 5 D 34/00 510 Z

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 5 頁)

(21)出願番号 特願平9-57887

(22)出願日 平成9年(1997)3月12日

(71)出願人 397007136

アイランド株式会社

大阪市中央区西心斎橋2丁目12番22-506号

(72)発明者 粟飯原 誠一  
大阪府大阪市中央区西心斎橋2丁目12番22  
-506号 アイランド株式会社内

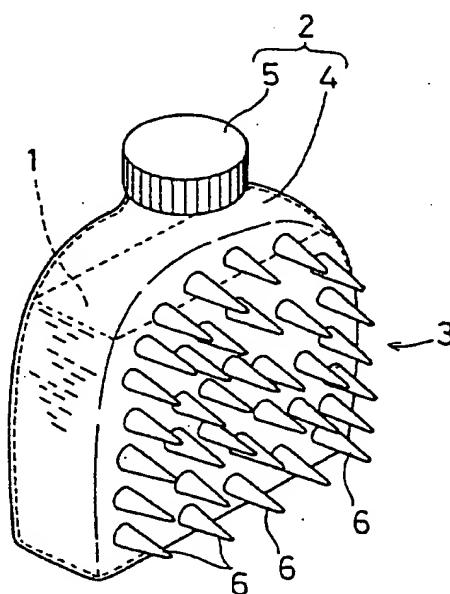
(74)代理人 弁理士 辻本 一義

(54)【発明の名称】整髪容器

(57)【要約】

【課題】 整髪の際に従来よりも便利である整髪容器の提供をしようとするもの。

【解決手段】 整髪料1を収容すべき容器2であって、前記容器2の外周には整髪のための形状3が合成樹脂の成形により形成されていること。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 整髪料を収容すべき容器であって、前記容器の外周には整髪のための形状が合成樹脂の成形により形成されていることを特徴とする整髪容器。

【請求項2】 前記容器は収容部と蓋部とを有し、整髪のための形状は収容部に形成されている請求項1記載の整髪容器。

【請求項3】 前記容器は収容部と蓋部とを有し、整髪のための形状は蓋部に形成されている請求項1記載の整髪容器。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、各種の整髪料を収容するための整髪容器に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来より、シャンプー、リンス、リキッド、トニックその他各種の整髪料が、容器に収容された状態で販売されている。そして、洗髪その他の整髪に際し、梳やブラシなどの整髪用具を用いると便利である。

【0003】しかし整髪をする際に、必ずしも整髪用具を前もって用意しているわけではない。すなわち、整髪を開始してから初めて整髪用具を用意しておくと便利だったことを思い出すことが多く、思い出した時は既に整髪の最中であり、その状態で整髪用具の調達にあらためて乗り出すのは厄介であるという問題があった。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】そこで、この発明は、整髪の際に従来よりも便利である整髪容器を提供しようとするものである。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】前記課題を解決するためこの発明では次のような技術的手段を講じている。

【0006】この発明の整髪容器は整髪料を収容すべき容器であって、前記容器の外周には整髪のための形状が合成樹脂の成形により形成されていることを特徴とする。

【0007】この整髪容器によると、整髪料を収容すべき容器の外周には整髪のための形状が合成樹脂の成形により形成されているので、整髪をする際には、整髪のために必須なこの整髪容器を用意するだけで足り、あると便利な整髪用具を前もって用意しておく必要はない。また合成樹脂の成形により、整髪のための形状を比較的に簡易に形成することができる。

【0008】なお、この明細書では人間や動物の洗髪、洗毛、ブラッシング、マッサージなどを整髪と総称する。

【0009】前記容器は収容部と蓋部とを有し、整髪のための形状は収容部に形成されていることとしてもよ

## 【0010】

【発明の実施の形態】以下、この発明の実施の形態を図面を参照して説明する。

(実施形態1) 図1に示すように、この実施形態の整髪容器は、整髪料1としてシャンプーを収容すべき容器2であって、前記容器2の外周には整髪のための形状3として洗髪のためのブラシの形状が合成樹脂の成形により形成されている。

## 【0011】前記容器2は収容部4と蓋部5とを有し、

10 洗髪のためのブラシの形状はシャンプーの収容部4に形成されている。この収容部4は、合成樹脂のブロー成形により形成している。

【0012】洗髪のためのブラシの形状は、具体的にはシャンプーの収容部4の外周の片面に形成された複数の円錐状の脚長突起6としている。この脚長突起6により、洗髪の際にシャンプーで泡立った毛髪を搔き回して洗うと共に、頭皮に刺激を与えてマッサージ効果を付与する。このようにシャンプーの収容部4の外周の片面に形成された複数の円錐状の脚長突起6はマッサージ用の20 イボとしても機能させることができ、美容にもよい。

【0013】次に、この実施形態の整髪容器の使用状態を説明する。この整髪容器によると、シャンプーを収容すべき容器2の外周には洗髪のためのブラシの形状が合成樹脂の成形により形成されているので、洗髪をする際には、洗髪のために必須なこの洗髪用の整髪容器を用意するだけで足り、あると便利な整髪用具(例えばブラシ)を前もって用意しておく必要はない。

【0014】したがって、洗髪などの整髪の際に従来よりも便利であるという利点がある。また合成樹脂の成形により、洗髪のためのブラシの形状を比較的に簡易に形成することができる。

(実施形態2) 次に、実施形態2を実施形態1との相違点を中心に説明する。

【0015】図2に示すように、この実施形態の整髪容器は、整髪料1としてトニックを収容すべき容器2であって、前記容器2の外周には整髪のための形状3として梅の形状が合成樹脂の成形により形成されている。

【0016】前記容器2は収容部4と蓋部5とから成り、梅の形状はトニックの収容部4に形成されている。

40 この収容部4は、合成樹脂のブロー成形により形成している。またこの整髪容器は、ケース7に収納するよう正在する。

【0017】次に、この実施形態の整髪容器の使用状態を説明する。この整髪容器によると、トニックを収容すべき容器2の外周には梅の形状が合成樹脂の成形により形成されているので、整髪をする際には、整髪のために必須なトニックが収容されているこの整髪容器を用意するだけで足り、あると便利な整髪用具(例えば梅)を前もって用意しておく必要はない。

50 1実施形態2のカバー実施形態2を実施形態1のカバー

述点を中心に説明する。

【0018】図3及び図4に示すように、この実施形態の整髪容器は、整髪料1としてシャンプーを収容すべき容器2であって、前記容器2の外周には整髪のための形状3として洗髪のためのブラシの形状が合成樹脂の成形により形成されている。

【0019】前記容器2は収容部4と蓋部5とから成り、ブラシの形状はシャンプーの蓋部5に形成されている。この蓋部5は、合成樹脂のインジェクション成形により形成している。

【0020】ブラシの形状として、蓋部5の外側面に複数の円錐状の突起6を形成している。この突起6により、洗髪の際にシャンプーで泡立った毛髪を搔き回して洗うと共に、頭皮に刺激を与えてマッサージ効果を付与する。

【0021】収容部4には中蓋8を設けており、その外側に螺合している蓋部5を緩めると蓋部5の中央に形成された孔部9からシャンプーが流出するようになっている。またキャップを緩めることにより、液の出方を調整することができる。

【0022】このものによると、先ず蓋部5を緩めてシャンプーを出して頭に付け、次いで蓋部5を収容部4に螺合して締め付け、この整髪容器の収容部4を掴んで蓋部5を突設した複数の突起6で頭をごしごし擦ることにより、洗髪を行うことができる。

(実施形態4) 次に、実施形態4を上記実施形態との相違点を中心に説明する。

【0023】図5及び図6に示すように、この実施形態の整髪容器は、整髪料1としてイヌやネコなどのペット用のボディーシャンプーを収容すべき容器2であって、前記容器2の外周には整髪(毛)のための形状3としてペットの洗毛のためのブラシの形状が合成樹脂の成形により形成されている。

【0024】前記容器2は収容部4と蓋部5とから成り、ブラシの形状はペット用のボディーシャンプーの蓋部5に形成されている。この蓋部5は、合成樹脂のインジェクション成形により形成している。

【0025】ペットの洗毛のためのブラシとして、蓋部5の内側面に複数の円錐状の突起6を形成している。この円錐状の突起6により、洗毛の際にボディーシャンプ

ーで泡立った毛を洗う。ボディーシャンプーの収容部4には中蓋8を設けており、その外側に螺合している蓋部5を取り外すと中蓋8の中央に形成された穿孔10からボディーシャンプーが流出するようになっている。

【0026】このものによると、先ず蓋部5を外してボディーシャンプーをペットの体にふりかけ、次いで蓋部5の外側の摘み部11を掴んで内側面の複数の突起6でペットの体をごしごし擦ることによりペットの体の洗毛を行うことができ、ペットの体の毛を乾かした後は引き続きこの蓋部5のブラシ状の部分を用いてブラッシングを行うことができる。

【0027】このようにこの整髪容器は人間は勿論のこと、イヌやネコ、その他馬などの動物に対しても好適に適用することができる。

【0028】

【発明の効果】この発明は上述のような構成であり、次の効果を有する。

【0029】整髪をする際には、整髪のために必須なこの整髪容器を用意するだけで足り、あると便利な整髪用具を前もって用意しておく必要はないので、整髪の際に従来よりも便利である整髪容器を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の整髪容器の実施形態1を説明する斜視図。

【図2】この発明の整髪容器の実施形態2を説明する斜視図。

【図3】この発明の整髪容器の実施形態3を説明する分解斜視図。

【図4】図3の整髪容器の中央縦断面図。

【図5】この発明の整髪容器の実施形態4を説明する斜視図。

【図6】図5の整髪容器の中央縦断面図。

【符号の説明】

1 整髪料

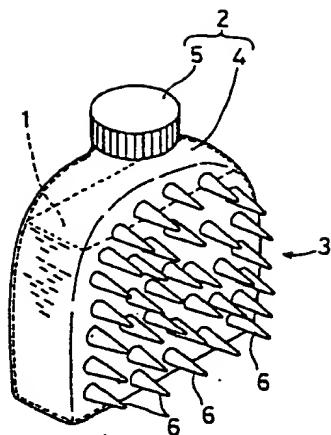
2 容器

3 整髪のための形状

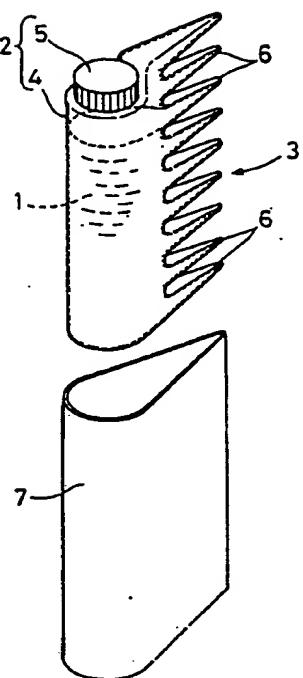
4 収容部

5 蓋部

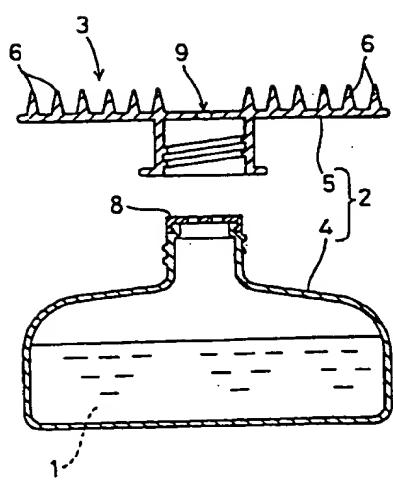
【図1】



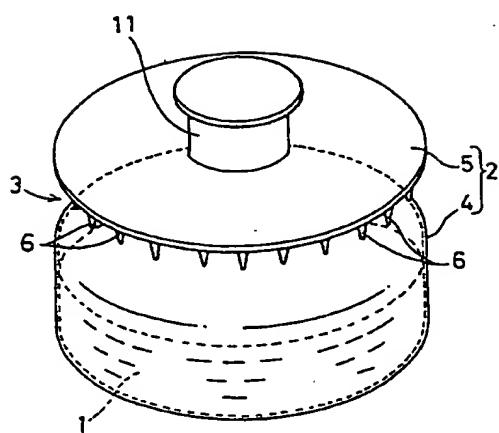
【図2】



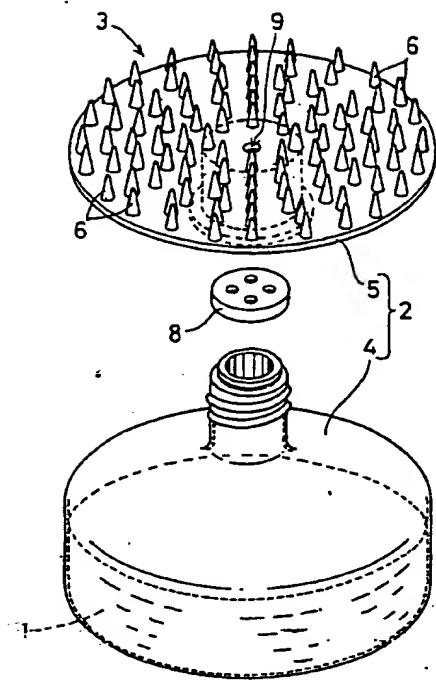
【図4】



【図5】



【図3】



【図6】

